

取組状況 (1)

洪水を河川内で安全に流す対策

洪水痕跡板・想定浸水深表示板の設置【村山市・山形河川国道事務所】

～村山市長島地区(最上川)の堤防1,370mが完成しました～

平成25年7月に最上川で発生した洪水を契機として、山形河川国道事務所が進めてきました、村山市の長島地区築堤工事が平成30年6月をもって完成しました。

同堤防は平成25年7月の出水規模に対し、家屋浸水被害が防げるようにと早急に対処した暫定堤防となります。

今回新たに洪水痕跡板を堤防脇に設置しました。過去の洪水を風化させずに後世に伝えることが出来ると考えています。



洪水痕跡板・想定浸水深表示板

【上段】想定浸水深表示板

想定し得る最大規模の洪水が発生した場合の当該箇所の浸水深を表示。

【下段】洪水痕跡板

過去の洪水を風化させずに後世に伝えていくことを目的として、昭和42年8月羽越水害において、実際に上がったとされる高さを表示。

取組状況 (2)

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を派遣しました

～甚大な被害を受けた中国地方に災害支援を実施～

山形河川国道事務所では、平成30年7月豪雨により甚大な被害を受けた中国地方に災害支援を行うため、緊急災害対策派遣隊等を派遣しました。

- ①被災者生活支援 7/16 支援地区:岡山県倉敷市
支援内容:土のう袋4,000袋を支援【全国の各地方整備局から全19万袋支援の一部】
- ②派遣先等 7/19～7/26 派遣地区:広島県広島市
派遣構成:被害状況調査班[砂防]1班(4名)
- ③派遣先等 7/27～31 派遣地区:広島県福山市
派遣構成:災害対策派遣車両[排水ポンプ車 30m³/min(高揚程)]1台



TEC-FORCE派遣出発式



広島市での被災状況の調査



応急対策についての助言

「水防災の公開授業」で地域防災力向上を!【山形市、山形河川国道事務所】

～小学生を対象に水災害教育に取組みました～

最上川上流減災対策協議会の取組みの一環として、昨年度作成した「水防災学習プログラム(案)」を活用した公開授業を山形市立大郷小学校をモデル校として実施しました。

この公開授業は、「東北初の取り組み」として幼少期からの防災意識の啓発を図るとともに、保護者及び地域住民の方々にも参加いただくことで地域防災意識の向上に結びつけることを目的に実施。

この取組み結果を「水防災学習プログラム(案)」に反映することで、最上川上流管内の学校に活用いただける実用的なプログラム作成に生かし、次年度以降の学校での活用を目指しています。

【日 時】 平成30年7月12日(木) 13:50～16:10
[公開授業 13:50～14:35 意見交換会 14:50～16:10]

【場 所】 山形市立大郷小学校

【参加者】 大郷小学校、保護者、地域住民、他校教諭
(山形市、山形地方气象台、山形河川国道事務所) 55名

公開授業及び意見交換会の様子



公開授業



公開授業



意見交換会

編集後記

西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨をもたらした、平成30年7月豪雨からまもなく1ヶ月。東北地方整備局として被害状況の把握・被害拡大防止・技術的支援のためTEC-FORCを派遣中、引続き支援してまいります。(すでに山形河川国道事務所としてTEC-FORCE 4名 排水ポンプ車・土のう袋の支援済)

同豪雨からの課題の一つとして『着実な河川改修と避難』が重要と改めて思われました。同豪雨に伴う被災状況等は現在調査中ですが、ハザードマップの周知を始め避難に関しては、市町作成のハザードマップを今一度確認していただき緊急時に速やかな防災行動を取っていただければと思います。